

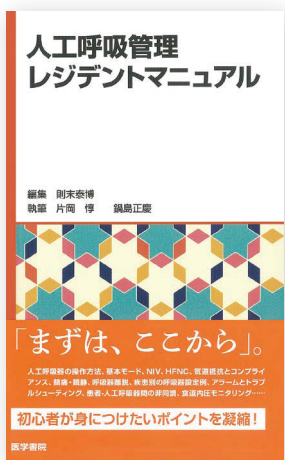
呼吸器病レジデントマニュアル

第5版

谷口博之、藤田次郎＝編

本体 5,700 円＋税／B6 変判・660 頁／医学書院／2015

研修医・呼吸器専門医を目指す若手医師のための、呼吸器疾患マニュアル。本書のコンセプトは、ポケット版のレジデントマニュアルであり、一般外来・病棟・救急それぞれの場で、呼吸器疾患全般における臨床的疑問を手軽に解決できるよう、具体的・実践的な答えがすぐに見つけられる目次構成になっている。執筆者はすべて呼吸器疾患のエキスパートで、編集者が丁寧に全体内容を調整した。呼吸器疾患に関する基本的な知識を効率よく習得できる。



人工呼吸管理レジデントマニュアル

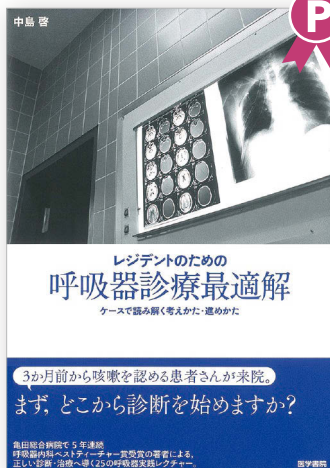
則末泰博＝監修

片岡 惇、鍋島正慶＝執筆

本体 3,800 円＋税／B6 変判・216 頁／医学書院／2019

「まずはここから」。人工呼吸器の操作方法、基本モード、NIV（非侵襲的換気療法）、HFNC（高流量鼻カニューラ酸素療法）、気道抵抗とコンプライアンス、鎮痛・鎮静、呼吸器離脱、疾患別の呼吸器設定例、アラームとトラブルシューティング、患者 - 人工呼吸器間の非同調、食道内圧モニタリング……。初心者が身につけたい人工呼吸管理のポイントがこの1冊に！

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.775) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



レジデントのための呼吸器診療最適解

ケースで読み解く考えかた・進めかた

中島 啓=著

本体 5,200 円 + 税 / B5 判・392 頁 / 医学書院 / 2020

さまざまな訴えで呼吸器内科に来院・入院される患者さんへの対応に日々追われるレジデントたち。本書は、呼吸器診療に携わる研修医・若手呼吸器科医が日常診療で遭遇する困難や疑問に感じる「あるある!」を症状・疾患別にまとめ、実際の症例をベースに、折々の場面でどう考え、どう対応していくべきなのか、その思考過程を提示しつつわかりやすく解説する。実際の診療手順とポイントをイメージできるフローチャートも収載。p.735 に書評あり。



《ジェネラリスト BOOKS》

薬の上手な出し方&やめ方

矢吹 拓=編

本体 4,000 円 + 税 / A5 判・322 頁 / 医学書院 / 2020

なんとなく出し続けていたこの薬、他科でもらっているあの薬、必要? やめる? 続ける? 薬を入口に、総合医と薬剤師であれこれ話し合ってみました。「やめる根拠」と「続ける根拠」、「上手な処方」や「減薬」のヒント、そして薬の話にとどまらず「診療のコツ」がそこここ。専門医による「上手な処方指南」もあります。答えは1つではない。正しい答えがあるとも限らない。けれど、考え続ける先に道はある!



在宅ケアナースポケットマニュアル

ウィル訪問看護ステーション=編

本体 1,800 円 + 税 / A6 判・264 頁 / 医学書院 / 2019

訪問看護師の声からつくったポケットマニュアル。在宅の現場で頻繁に参照する情報や、ケア・指導のポイント、あると便利なスケール・データを網羅的に掲載。何か困った時やうっかり忘れてしまった時に、その場でパッと開いて、欲しい情報にすぐにあたることができる。もちろん診療所においても役に立つ、実用的な1冊!